



### CONTENTS

- 今年の予算ピックアップ ..... 2P
- 予算特別委員会 ..... 5P
- 代表質問 ..... 13P
- 一般質問 ..... 19P
- 議案賛否 ..... 21P
- 窓・議会見聞録・編集後記 ..... 22P

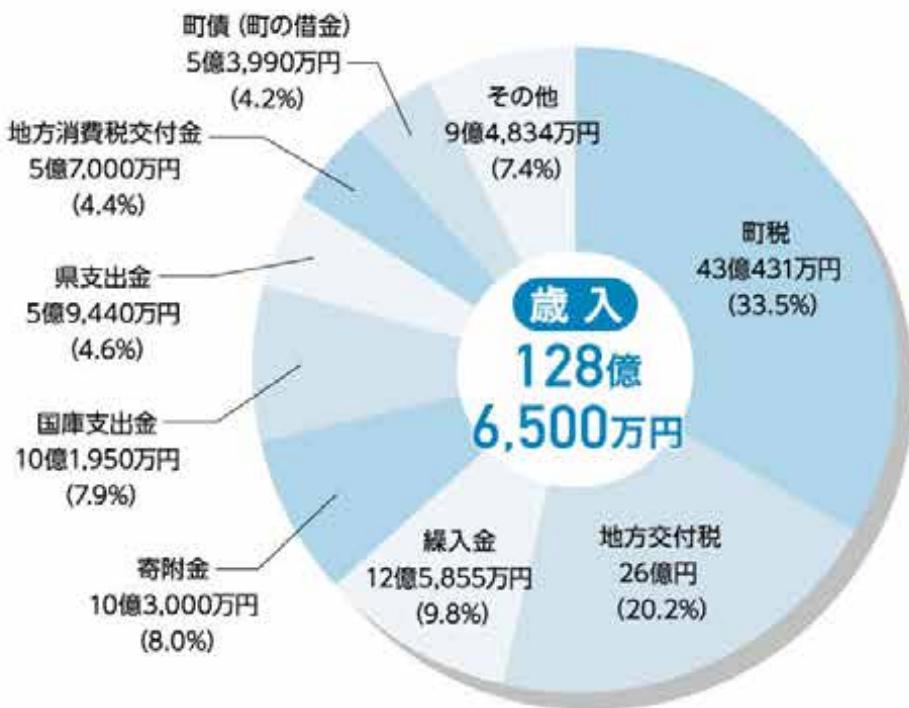


精進湖でのカヌー練習風景

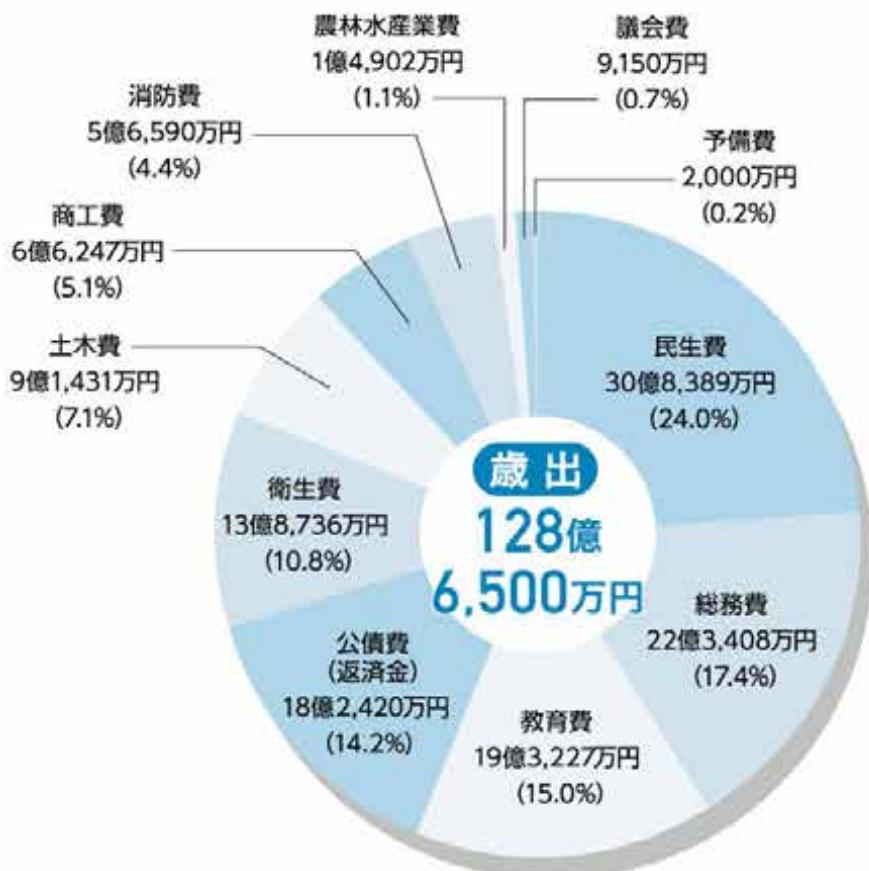
# 無償化事業継続

令和4年度一般会計予算  
128億6,500万円

(前年度比10.7%増)



## 令和4年度一般会計予算の内訳



## 令和4年 第1回定例会 定例会の内容

令和4年第1回定例会は、3月8日に開会し、会期を23日までの16日間と決め令和4年度の予算等を審議しました。令和4年度の一般会計予算額は、前年度と比較して12億3,900万円の増額となり、歳入歳出それぞれ総額128億円6,500万円となっています。

他に、代表質問(3会派)一般質問(2人)が行われ条例の廃止・一部改正9件、同意案件13件、正予算6件等を審議し、原案どおり可決しました。また、令和4年度一般会計予算、31の特別会計予算、公営企業会計は、予算特別委員会を設置して集中審議を行い、すべての予算を原案どおり可決しました。

# 勝山小学校特別教室増築事業 保育所・小中学校給食費完全

## 勝山小学校特別教室 増築事業



増築予定の勝山小学校

**2億8,500万円**

25人学級導入と児童数の増加により特別教室を普通教室に改修し、不足する特別教室を補完するため増築工事を行う。

## 保育所・小中学校給食費 完全無償化



**1億6,470万円**

令和2年4月から保育所・小中学校給食費の全額を町費負担としている。  
(1食分で保育所・小学生300円、中学生340円上限。)



3月定例会では、予算特別委員会で予算案を審議し、可決しました。(P5~P12に関連記事)

その上で、議会が注目した事業を紹介します。

## くらし応援商品券事業



**1億4,570万円**

町内利用限定の商品券(5,000円)を全町民に配布し、コロナ禍で疲弊している経済を下支えするとともに、消費喚起を促す。5月中旬以降配布予定。

## 宿泊支援割事業



河口湖畔のホテル

**1億3,203万円**

町内ホテル等の宿泊施設への宿泊者に対し、宿泊費の一部助成及び、県の事業と合わせスポーツ・文化合宿への一部助成による誘客を図る。

## 新型コロナワクチン接種事業



ワクチン接種会場（中央公民館）

**1億278万円**

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のためワクチンの住民接種を実施する。

追加(3回目)、新規(1・2回目)、小児(満5歳以上)

### その他の注目事業

●子ども医療費助成事業	1億 347万円
●乳幼児紙おむつ購入費一部助成	1,242万円
●Mt富士トライアスロン富士河口湖実行委員会負担金	700万円
●ジビエプロジェクト事業	500万円
●高齢者外出支援事業	401万円

### 1月から3月までの議会の動き（一部掲載）

#### 1月

- 4日 富士河口湖町安全祈願祭
- 9日 成人者のつどい
- 18日 議会広報常任委員会（初稿）
- 21日 議会広報常任委員会（2稿）
- 24日 議会広報常任委員会（最終稿）
- 25日 議会臨時会
- 31日 山梨県後期高齢者医療広域連合全員協議会

#### 2月

- 7日 富士五湖広域行政事務組合議会運営委員会
- 16日～17日 富士五湖広域行政事務組合議会
- 17日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会

#### 1月

- 18日 青木が原ごみ処理組合議会
- 青木ヶ原衛生センター組合議会
- 22日 山梨県町村議長会議長会議

#### 3月

- 1日 議会全員協議会
- 議会運営委員会
- 8日～23日 議会定例会
- 22日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会
- 河口湖南中学校組合議会
- 25日 富士・東部広域環境事務組合全員協議会
- 29日 富士・東部広域環境事務組合議会
- 福祉の集い
- その他財産区管理会・各種委員会等17回の会議に出席



# 町の予算が有効に使われるか 委員会でチェック!



## 令和4年度 予算特別委員会

委員長 倉沢 鶴義 副委員長 中村 拓郎

### 介護保険特別会計

山下利夫委員

普通徴収保険料の滞納額

越分が800万と昨年度決算の約10倍になつていて

が、その理由は。

健康増進課長

令和3年度の決算見込みに基づいて算定している。

山下利夫委員

未納分の収納率は十数%

ぐらいである。もし収納率

が上がらない場合は減額を

していくのか。

健康増進課長

介護保険料の徴収は、公的年金から徴収させていた

だく特別徴収が基本となる

が、年金収入の低い方は、

そこから徴収ができないの

で、普通徴収という形で各

自納付していただきてい

る。そういった方々は生活困窮者が大半なので、例年

これは大きな問題となつて

いる。不納欠損の審査会で

慎重に諮つていたとき、税務課とも連携していきた

い。

### 山下利夫委員

厳しく難しいと思われる

が、その場合は減額補正を

していいのか。

健康増進課長

予算では、あくまで10

0%に近い収納を努力する

という形である。

ふるさと応援

一般会計

政策企画課

寄附金の役割は

ふるさと応援寄附金の収入見込みが伸びているが、

その根拠は。

外川満委員

ふるさと応援寄附金の収入見込みが伸びているが、

その根拠は。

政策企画課長

令和3年度は、返礼品の

数を増やし、そして、1つの返礼品の見せ方、伝え方

を充実させてきた。その結

果、返礼品サービスは約7

70件、寄附金額は前年度

より2億円以上伸びてい

る。新年度は、11の寄附サ

イトを活用し、本町への応援団を増やしていきたい。

### 外川満委員

総務省ホームページによ

れば、納税者に応援したい

と思つていただけるよう

ことを自治体が考え、競争

していくという奥深い意義

がある。町が売り出していく

ことの商品なのが、町

が、ある。町が売り出していく

ことの商品なのが、町

新入生に商品券配布

山下利夫委員

健康科学大学新入生に新規で配布される商品券は、

どのようなお店で使えるの

か。

政策企画課長

河口湖商業振興会が発行

している既存の商品券であ

り、100件を超える町内

の小売店など様々なお店で

使用できる。

山下利夫委員

どのようなお店で使える

のか、学生にわかりやすく

周知を。

政策企画課長

商工会や健康科学大学事務局とよく打ち合わせをさ

せていただき、学生にわかれやすく紹介していきた

い。

3月10日現在、町内に

は、充電器が26台あり、そ



## トライアスロン大会の経済効果は

外川満委員

マウント富士トライアスロン大会の事業費は。

政策企画課長

予算計画では、総額で6100万円。内訳は、主催者負担分として、町と山日新聞社で700万円ずつ1400万円、参加費として2500万円、共催金として2200万円。

外川満委員 参加者はどのような層が多いのか。

## 政策企画課長

全国の愛好者は約38万人。比較的、経営者や管理職の占める割合が多いと言っている。

外川満委員

町が負担金700万を使つて、町への経済効果は。

政策企画課長

年齢層が高い人たち、また、ご家族連れで来町している。ただければ、一定の町への経済効果があると期待している。

## 地域防災課

### 小立分団・消防指令車の運用は

渡辺美雄委員

小立分団に新たに購入する消防指令車について、どのように運用するのか。

地域防災課長

1200CCの四輪駆動車を購入予定。小立支所を併設している中部の詰所に配備し、冬期の夜警、また、緊急時に機動力を高めるために運用予定である。

渡辺美雄委員 年間を通した活用を。

地域防災課防災係長

火災現場での指令対応、また、災害時や台風のときのパトロールにも活用できる車両である。

古屋実委員

小立分団の消防指令車の納期はいつごろになるか。

地域防災課長

冬期の夜警には間に合うように、年内になるべく早くいうちに予定している。

## 備蓄倉庫の内容は

三浦康夫委員

備蓄倉庫の内容に変化は。

地域防災課長

最近は、乳児用の液体ミルク、外国人観光客向けの洋食メニュー、宗教や民族のしきたりに合わせた備蓄品、コロナ禍におけるマスクや消毒液、生理用品なども確保している。

地域防災課長

令和4年度中に、協議会にて、避難基本計画が定められる予定となっている。これを受けて、住民配布用のハザードマップを作成する予定である。

## 税務課

### 依然厳しい税務事情

山下利夫委員

法人町民税と入湯税はどのような見方で計上しているのか。

税務課長

両方とも今年の実績を勘案して計上している。多少の回復は期待するが、依然厳しい状況と予想される。

山下利夫委員

固定資産税は、今年は減免が実施されないので、事業者にとって大変な状況だが、その対応は。

税務課長

納税相談などを行い、分納などで対応している。不公平感が出ないように徴収業務を進めていきたい。

で避難するかなど、富士山火山対策協議会で議論されている。

令和4年度中に、協議会にて、避難基本計画が定められる予定となっている。

これを受け、住民配布用のハザードマップを作成する予定である。

三浦康夫委員

滞納繰越分は、個人が1000万円、固定資産税が3000万円だが、その根拠は。

税務課長

両方とも過去の実績により計上した。

三浦康夫委員

現在の固定資産税の滞納額は。

税務課長

2月末の集計で、854万円の滞納額になつておる。

健康増進課

子宮頸がんワクチン

佐藤安子委員

8年ぶりに再開される子宮頸がんワクチンだが、今後のスケジュールは。

健康増進課長

ワクチンの供給量の情報を入手しながら、どのような接種体制を持つか富士吉田市医師会と協議を進めていく。

副反応への不安等の対応を入手しながら、どのような接種体制を持つか富士吉田市医師会と協議を進めていく。

佐藤安子委員

副反応への不安等の対応を入手しながら、どのような接種体制を持つか富士吉田市医師会と協議を進めていく。

はどうなつているのか。

健康増進課長

健康増進課等への問合せは、担当から詳細に説明していく。また、いろいろな広報活動や、接種券等に同封するリーフレットなどの準備を進めている。ワクチン接種が始まつてからは町のホームページ等を通じて広報していく。

2月末の集計で、854万円の滞納額になつておる。

2万円の滞納額になつておる。

に併せてリーフレットを配布し、緊急対応の相談ダイヤル等の案内をしている。

接種会場内では、DVDの映像を通じて副反応等の詳細について説明している。

今年の11月を予定。

(※) 小規模保育事業B型

2歳児までが対象で、職員の

半数以上が保育士であり、從業員の

多くの配置するよう定められて

いる。

半数以上が保育士であり、從業員の

件。スマートフォン利用で医師や助産師と電話、ライ

ン等で直接相談をする事

業。4月から件数に制限がないため利用者拡充を図

る。

件。スマートフォン利用で医師や助産師と電話、ライ

ン等で直接相談をする事



## 環境課

「三処理削減と  
リサイクル」

設置費用として2か所90万円計上されているが場所は。

## 環境課長

渡辺美雄委員

令和2年度焼却場処理負担費の事業系と一般ごみの状況を伺う。

環境課長

3年度途中であるが令和2年度の実績よりも今は1割増で推移。

渡辺美雄委員

町の焼却場処理負担費は2億9500万円を計上しているができるだけ安価に抑えることが目標である。

環境課でごみの減量をするための方法を伺う。

環境課長

令和4年度は分別を徹底しごみの減量、3R運動の推進と事業展開をしたい。リサイクルの日を作り、図書館で子供たちへの勉強会、リサイクルステーションを設置する予定である。さらに住民の意識の向上につなげたい。

リサイクルステーション  
佐藤安子委員

あさま広場リサイクルボックス

## 合併浄化槽 設置状況

## 三浦康夫委員

令和4年度、合併浄化槽設置費用15件600万円計上されている各地区的設置状況の推移は。

## 環境課長

下水道の認可区域外で北岸が主に多い。次は小立南地区下水道認可区域外。

## 三浦康夫委員

枯れ被害木280本分の現状の被害状況は。

## 合併浄化槽設置には、補助金約40万円の活用が出来る。町はこの合併浄化槽設置費補助金制度をPRする必要があると思うが。

## 農林課長

ナラ枯れ木の被害は町全体に広がり、さらに点在している。

## 三浦康夫委員

処理方法は松くい虫と同じ様に木を切って処理していく方法か。

## 町長

質問の補助金については、下水道等の認可エリア外が対象の国の制度に沿つたものである。集中処理方式により、この方が安価で事業を進められるケースも多々あるが、都市計画決定等で一度認可してしまったことを変更することは困難である。

## 農林課

## ナラ枯れ被害の現況は

## 三浦康夫委員

今年度ナラ枯れ被害木伐倒駆除事業に278万円を予算計上されているがナラ枯れ被害木280本分の現状の被害状況は。

## 農林課長

令和元年度と2年度のシカの処理頭数はともに14頭、コロナ禍で令和2年頭打ち。

## 三浦康夫委員

以前に質問でジビエ処理に携わっている人が何人いるのか伺った時、専従1名アルバイト2名で鹿肉の処理を行っていると聞いていたが、現状は。

## 農林課長

専従1名で行っている。他にアルバイト1名いるが仕事も毎日なく処理対応に問題ない。

## ジビエプロジェクト

## 三浦康夫委員

町直営ジビエプロジェクトのクラウドファンディングは予想以上の寄附が集まり更なる事業の推進を期待している。最近のシカ処理頭数を伺う。

## 農林課長

令和元年度と2年度のシカの処理頭数はともに14頭、コロナ禍で令和2年頭打ち。

## 三浦康夫委員

以前に質問でジビエ処理に携わっている人が何人いるのか伺った時、専従1名アルバイト2名で鹿肉の処理を行っていると聞いていたが、現状は。

## 農林課長

専従1名で行っている。他にアルバイト1名いるが仕事も毎日なく処理対応に問題ない。



粘着シート設置作業

三浦康夫委員

捕獲されたシカがスムーズに処理施設へ運ばれて処理され、ふるさと納税の返礼品に又地元のホテル、民宿、レストラン等に利用されるためにも鹿肉処理の人材育成が必要と思うがその対策は。

農林課長

随時、新たに処理できる人を探す。さらにクラウドファンディングの事業費を活用してDVDの作成などを行う。

森林環境

譲与税の事業は

山下利夫委員

森林環境譲与税の事業は森林整備に向けた調査業務委託で森林所有者の意識調査を実施するが、具体的な調査内容を伺う。

農林課長

今回の調査は經營管理権集積計画意向調査、集積計画作成箇所の森林整備事業のための調査等、1年～2年かかり、いかに効果的に調査をする為の計画を作成

する調査である。  
以上で感染状況がステージ2以下。

山下利夫委員

多くのあるので整備を願う。整備が行き届かない山が

観光課

宿泊支援事業

渡辺美雄委員

宿泊支援事業の内容を伺う。

観光課長

1万円以上のものに対して5000円、5000円以上で1万円未満のものについては3000円のクーポン券を計画する。

スポーツ・文化合宿支援事業

渡辺美雄委員

事業の県が実施する内容も含めて伺う。

観光課長

町の宿泊施設を使用した業者に対して県が1人1泊1000円助成する。それに合わせて、町も1000円助成する。県の要項等で

は、1回の合宿につき30泊以上で感染状況がステージ2以下。

いやしの里運営事業  
ハーブの生育や、今後の懸念を伺う。

三浦康夫委員

火災が発生した場合、今

の保険料で再建はできる体制なのか伺う。

観光課長

建設当時の限度額の金額で入っており。再建はできると考えるが、再度総務課と詰める。

共済の建物保険であり、

予算では650万円計上

されているが、何事業者を見込んだ金額か伺う。

山下利夫委員

今年の予算では約160事業者、650万円を計上する。

山下利夫委員

状況が既に改善されている。商工会や金融機関の対応だが、柔軟な対応が必要。

ハーブフェスティバルについて  
ハーブの生育や、今後の懸念を伺う。

三浦康夫委員

懸念を伺う。

観光課長

ある程度早い時点で、花の時期に合わせハーブフェスティバルの開催期間を決め広報する。

観光課長

河口湖エリアは、公衆トイレや観光施設など、また、公共施設に19、レストランや事務所、民間施設に6、合計で25か所。西湖エリアは、観光施設、公民館など公共施設に2、食事処や民宿、キャンプ場などに7、合計で9か所。精進エリアは、公共施設と公民館に1つずつ、民間キャンプ場に1、合計で3か所。富士ヶ嶺エリアは、公共施設、コミュニティーセンタに1か所。全体で38か所へ、令和2年度に整備した。

まちなかWi-Fi  
管理事業

山下利夫委員

整備状況を伺う。

観光課長



いやしの里



**都市整備課****都市計画道路の見直し****渡辺美雄委員**

都市計画道路見直しの内容を伺う。

**都市整備課長**

国補助金により令和5年度までに、都市計画道路の見直しを行う。

**除雪作業委託****佐藤安子委員**

雪の降雪に係わらず業者の補償への検討状況は。

**都市整備課長**

近隣の市町村でも業者への補償は無く、今回予算是上げていらない。

**急傾斜対策事業負担金****山下利夫委員**

伸びる前に早めの除草をお願いする。

**雪解沢の改修工事****山下利夫委員**

都市整備課長

雪解沢の除草は、毎年梅雨と台風シーズン前に行っている。また、町が管理する重要河川にたまつた土砂の除去は、毎年順次浚渫を行っている。

西湖地区と長浜地区の急傾斜対策事業を伺う。

**都市整備課長**

西湖地区は桑留尾地区であり、今年から設計業務を行っている。

**三浦康夫委員**

北東の斜面であり、県の補正予算で設計業務委託を今年度、来年度と行う予定。

**学校教育課****就学相談・学力支援スタッフについて****中村拓郎委員**

教育センター費の中に、「就学相談」があるが、小学校に入学するに当たり、障害等を持たれている児童の相談件数は。

**学校教育課長**

小立団地は12部屋であるが、2号棟の10部屋は貸出しあり、2部屋は修繕を行い貸出す。大嵐団地は4部屋であるが、1部屋は政策空き部屋、1部屋は修繕を行い募集、残り2部屋は募集をかける。

就学相談の件数については、知的障害や発達障害に係る児童・生徒の相談を受けており、昨年中の相談件数は、小学校入学時の相談で、約150件、小学校・中学校に在学中の児童・生徒に係る相談件数が約400件となつておらず、全体で550件以上となつている。これ以外にも電話相談等もあり600件を超える相談件数となつてている状況である。

**山下利夫委員**

学力向上支援スタッフの補助金について、支援員が前々年度から配置されているが、新年度は何人ぐらい配置する予定か。

**学校教育課長**

この補助金は、現在各学校に配置している支援員の人事費等に充てており、対象になる支援員は44名である。

**学校教育課長**

現在の相談体制は、相談員1名、スクールソーシャルワーカー1名、職員1名が主に相談業務に携わっている。特別支援学級や特別支援学校に入る児童・生徒の相談も年々増加。現状の相談も近づいている。

また、相談の内容も困難なケースが多く、対処し切れないような状況である。今後に向けて体制をどのようにしていくか検討が必要だと考えている。

**中村拓郎委員**

3名による相談の受付体制では限界が近づいている。また、相談の内容も困難な場合は、その疑いがある場合に、どのように学校で対応されているか。

**学校でのコロナ対応について****山下利夫委員**

第6波が始まってから、町内の主に小学校で断続的に感染者が発生している状況である。卒業式、高校入試等、大事な時期であり、保護者の負担を増やすないように保健所の指導に沿つた中で、学級閉鎖や休校等を極力行わない対応を取っている。

**学校教育課長**

感染が学校でも出ていると思うが、感染者が確認された場合や濃厚接触者、あるいはその疑いがある場合に、どのように学校で対応されているか。



英語支援員授業の様子

## 生涯学習課

### 文化財資料・富士風穴の管理について

中村拓郎委員

町史編さん事業が本格的に始まっている中で、從来から収蔵されている古文書、出土品や、今後も増えることが予想される貴重な資料等の保存・管理をどのように考えているか。

生涯学習課長

廃校舎、廃保育所等、町所有の空き施設を有効活用しながら資料として展示し、校外学習などにも対応できる保管場所を整備する方向で模索していきたい。

三浦康夫委員

天然記念物富士風穴利活用適正推進事業の内容は、生涯学習課長

富士風穴の管理のため、町が委託している監視員が常駐している。

富士風穴の所有者はだれか。

文化財係長

土地の所有者は山梨県で、国から天然記念物の指定を受けおり、富士河口湖町が管理団体に指定されている。

三浦康夫委員

富士風穴に駐車場整備ができるか。

文化財係長

富士風穴は、特別保護地域に駐車場の範囲も入っており、開発等の手が加えられない地域である。国、県も対応に苦慮している。

文化振興局

企業版ふるさと納税について

佐藤安子委員

新しい事業である、「音楽のまちづくり事業実行委員会活動補助金」300万円の詳細は。

文化振興局長

令和3年度に、企業版ふるさと納税を活用しての辻井伸行さんをメインとするコンサートを9月に開催し、好評をいただいた。それに続く2年目の事業として同規模を想定しているが、企業様からのふるさと納税の金額等がまだ明確になっていない状況である。

2回目の実施に向けて協議を進めている。

## 学校でのマスクの弊害

佐藤安子委員

学校生活におけるマスク着用の弊害に対して子供へ

の配慮はどのようにしているのか。

教育長

マスクを着用しているとコミュニケーションがうまく取れなくなり、人間関係が崩れたり、ストレスがたまつたりして、学習意欲が衰え、不登校へとつながってしまう。学校では、教職員が子供たちとのコミュニケーションを多く取つたり、一人一人の声にきちんと耳を傾けたりするよう心がけている。今のところ、マスク着用による心身の不調やトラブルなどは報告されていない。

## 税務課に問う

外川満委員

新年度を前に改めて徴税に対する考を伺いたい。

税務課長

税を単に徴収するという考え方ではなく、納税者より大切なお金を預かりし、それを町の発展や住民サービス、福祉等に役立てお返ししていくという考え方で職務を遂行していきたいと考えている。

町長

人口問題など、大きな課題があるが、町としては各課長が自分のテリトリーの中でSDGs 17の項目に向かって取り組んでいくものと考えている。

総括質疑



勝山小学校での交流の様子

©Tomoko Hidaki

## SDGsをひつ進めるのが

佐藤安子委員

令和4年度、町はSDGsをどのように進めていくのか。

観光課長

それぞれの事業を有効な時期に実施し、経済回復の

宿泊支援事業、くらし応援商品券事業など観光立町ならではの施策を遂行するに当たっての心意気を聞きたい。

## 観光課に問う

外川満委員

援商品券事業など観光立町ならではの施策を遂行するに当たっての心意気を聞きたい。

一助となるよう努めています。特に、くらし応援商品券は、直接町民の皆様の生活支援、また地域経済の活性化や下支えにつながるものであるので、一日も早く商品券が各家庭に届くよう進めていく。

## 地域防災課に問う

渡辺英之委員

今回、これまで行っていた「分団と自主防災の合同演習」から、「自治消防演习」とした目的と理由について伺う。

地域防災課長

コロナの影響で合同演習は開催できなかつたが、自主防災組織は、水利施設の位置や操作手順の確認をするために、実施方法を変えた。今後も同様に行う。

渡辺英之委員

南台自治会に対して可搬式ポンプ（ラビット）購入の補助があるが、他の地域への補助は考えているのか。

地域防災課長

船津地区の可搬式ポンプは昭和50年代の半のもので

あり、故障すると部品の調達もできず、修理ができない状態である。買換えにあたっては、財産区の補助及び、自治会や自主消防からも負担をしていただくこととなる。

## 政策企画課に問う

渡辺英之委員

トライアスロン、ふるさと納税について、政策企画課に成功への意思を伺いたい。

政策企画課長

ふるさと納税は、単なるE.Cビジネス（電子商取引）ではなく、シティプロモーションとしてうまく活用することが、今後町の発展につながると思っています。

「Mt. 富士トライアスロン大会」については、7年前、町長就任時の所信表明で、「ワンランク上の観光地への施策」として、オリンピック・パラリンピック、ラグビーのワールドカップなどの誘致を進め、質の高い魅力ある観光地づくりを推進する決意が述べられました。今後も同様に行う。



フランスパラトライアスロンチーム

されたことがスタートであった。その後、町の観光資源と非常に親和性の高いトライアスロン競技を今までぶれずに発信し続けてきた。その結果、フランス代表チームの事前合宿誘致に成功し、そして今、大会開催へと進展している。

今後この大会がレガシーとして残り、コロナで疲弊した日本の皆様に、富士の麓から元気と勇気を届けることができればと思つてゐる。そして、この大会を支える地域住民の皆様が、大会を通じて、さらに町への愛着と誇りを持つていただき、末長く住み続けられる

## 町長に問う

渡辺英之委員

税務課、観光課、政策企画課の答弁で、集めたお金理解できた。困難の時代から次の時代へとステップアップするこの新年度予算の陣頭指揮を執る町長の思いを伺う。

町長

今日は、コロナ対策をしつかりしつつも経済対策も行つていくという相反する

項目について融和をもつて、予算編成をしたつもりである。

まず、何とか町民生活を守るという考え方で3回目の商品券事業を展開し、その後、宿泊クーポンを発行。また、県との連携でスポーツ合宿等に対する支援を行

ようなまちづくりの一助となるよう、何とかこの大会を成功させていきたい。

されたことがスタートであった。その後、町の観光資源と非常に親和性の高いトライアスロン競技を今までぶれずに発信し続けてきた。その結果、フランス代表チームの事前合宿誘致に成功し、そして今、大会開催へと進展している。

今後この大会がレガシーとして残り、コロナで疲弊した日本の皆様に、富士の麓から元気と勇気を届けることができればと思つてゐる。そして、この大会を支える地域住民の皆様が、大会を通じて、さらに町への愛着と誇りを持つていただき、末長く住み続けられる

つかりしつつも経済対策も行つていくという相反する項目について融和をもつて、予算編成をしたつもりである。

一方、町の借金は、予算上では令和4年度末で177億円であるが、このうち約131億円は国が100%面倒を見るもので、純粹な町の借金は46億円。1人当たりに換算すると県下では少ないほうである。財政力指数は、0・636で、これも県下でも上位の方である。

このように、使うべきところには使うという思いを持つての新年度予算編成である。

もちろん、ここ2、3年続けてきた子供たちへの支援も継続していく。小・中学校、保育所の給食費の完全無償化、医療費については高校3年までを公費負担100%、おむつ用品の支給、ようこそ赤ちゃん事業は続けていき、産婦人科・小児科オンライン医療相談も予算編成の中で取り組んだ。お年寄りにはタクシーや券の発行。教育では、勝山小学校の増築を実施していく。このように、子供からお年寄りまで、コロナに打ち勝つ政策を編成した。

一方、町の借金は、予算上では令和4年度末で177億円であるが、このうち約131億円は国が100%面倒を見るもので、純粹な町の借金は46億円。1人当たりに換算すると県下では少ないほうである。財政力指数は、0・636で、これも県下でも上位の方である。

このように、使うべきところには使うという思いを持つての新年度予算編成である。



# 代表質問



町民クラブ

代表質問者 渡辺 美雄

代表 三浦 康夫  
井出 正広

**企業誘致の推進**

**Q** 新型コロナウイルス感染症拡大と長期化により、社会も企業も少しずつ変化してきている。昨年西湖地区に都内の上場企業が移転して来た事は、大変喜ばしい出来事だ。

**A 政策企画課長** 企業が移転することにより子供達の就職先確保・人口増・税収増と、有益なことは多い。当町の具体的な誘致活動の内容と今後の取り組みを伺う。

**Q 小立財産区はくぬぎ** 平スポーツ公園近くに約7万坪あり、他地区にも利用可能な用地は沢山あるが、どのようにPRしているのか。

**A 地域防災課長** 広域的に町や県による助成金のPRも含め、企業に関する情報収集を行っているが、有力な情報はありません。

**A 政策企画課長** 同様に各区有地も丁寧に説明と案内をしている。

**Q** 未加入者の多い地区や県道沿いへ防犯灯を設置する場合の対応は。

**A 地域防災課長** 区・自治会と相談しながら設置している。

**Q** 未加入者の多い地区や県道沿いへ防犯灯を設置する場合の対応は。

**A 政策企画課長** 未加入者の多い地区や県道沿いへ防犯灯を設置する場合の対応は。



## グリーン・ゾーン 認証制度の推進

山梨県で行っている  
「やまなしグリー  
ン・ゾーン認証制度」だ  
が、地域経済を立て直す為  
には必要と考える。

町内の認証施設の数と、  
取り組みは。

**A 飲食・宿泊課長**  
合計714件。町の支援は  
一事業者一律に、5万円の  
助成をしてきた。  
**Q 山梨県と今後連携等**  
この制度について、  
はあるのか。

### 観光課長

新たな認証制度が公  
表されたときには、観光連  
盟や協会を通じ対応を働き  
かけたい。

**Q 高齢化が進むなか介  
護施設入所への必要  
性はさらに高まっている。  
当町の介護待機者（増・  
減）の実態と、待機者解消  
に向けての対策は。**

### 健康増進課長

入所希望者は令和3  
年度110名ほどいて、そ

## ヤングケアラーの支援

子供達が日常的に家  
事や家庭の世話を行  
う「ヤングケアラー」が社  
会問題となつていて、  
山梨県では包括的な仕組  
みづくりを進めているが、  
当町の「ヤングケアラー」  
の現状と早期発見や必要な  
支援についての考えは。

**A 教育長**  
中学校で疑いのある  
生徒が3名程度いる。引き  
続々実態の把握と子供達の  
権利を守るために支援を行  
う。また県との連携は、支  
援ガイドラインに基づいて  
対応する。

### 介護待機者

ゼロを目指して  
高齢化が進むなか介  
護施設入所への必要  
性はさらに高まっている。  
当町の介護待機者（増・  
減）の実態と、待機者解消  
に向けての対策は。

### 福祉推進課長

入所希望者は令和3  
年度110名ほどいて、そ

の内約4割の方が入所をし  
ている。

免許を返納された方  
へのバス・タクシー  
チケットの、運賃補助制度  
の利用実績は。

**Q 介護待機者を解消す  
る上で山梨県との連  
携は有効だと思うが、町の  
考えは。**

**A 健康増進課長**  
山梨県との連携を密  
にし、介護待機者ゼロへの  
取り組みを進めていきた  
い。

**Q 福祉推進課長**  
R3年度2月末でバ  
ス定期券39名、タクシー券  
213名、前年比で3割増  
加。

**Q 福祉推進課長**  
R3年度2月末でバ  
ス定期券39名、タクシー券  
213名、前年比で3割増  
加。

免許を返納された方  
へのバス・タクシー  
チケットの、運賃補助制度  
の利用実績は。

**Q 福祉推進課長**  
市街地から遠い地区  
のタクシーチケット  
利用限度の増額等、差をつ  
ける対策も必要ではないか。  
**Q 福祉推進課長**  
事業導入3年目なの  
で、利用状況を研究した上  
で検討課題とする。

**Q 福祉推進課長**  
市街地から遠い地区  
のタクシーチケット  
利用限度の増額等、差をつ  
ける対策も必要ではないか。  
**Q 福祉推進課長**  
事業導入3年目なの  
で、利用状況を研究した上  
で検討課題とする。

免許を返納された方  
へのバス・タクシー  
チケットの、運賃補助制度  
の利用実績は。

### 高齢者の交通手段

### 確保について

**Q 近年、高齢者ドライ  
バーによる悲惨な交  
通事故が報道されている。  
公共交通機関の少ない当町  
で、安全に運転するための  
補助事業等の実績は。**

**A 福祉推進課長**  
ドライバーセミナー  
は毎年実施、70歳以上のド  
ライブレコーダーの設置補  
助はR2年度47件、R3年  
度50件。

### 地域防災課長

町バス運行ルート上な  
ら、バス停以外での乗降も  
可能となつていて、

**Q 上九一色地区からの  
生活支援バスの本数**  
並びに停留所の増設が必要  
と考えるが。

**A 地域防災課長**  
山梨赤十字病院行き  
の本数は増設し利便性を高  
めた。

町バス運行ルート上な  
ら、バス停以外での乗降も  
可能となつていて、



高齢者ドライバーセミナーの様子

# 代表質問



明日の町政を考える会

代表質問者 渡辺 英之

代表 倉沢 鶴義  
堀内 昭登 渡辺 武則

**観光地として起爆剤となるイベントは**

年は開催する予定があるのか、見通しを伺う。

**Q** 観光地として起爆剤となるのはイベントだが、冬花火については延期となり、感染が落ち着いたころでの再開が決まっている。来年度にトライアスロン大会が予定されているが概要を伺う。

**新型コロナウイルスのこれまでの状況と、今後の対策は**

**A** 健康増進課長

2020年1月16日

に国内で初めての感染者が確認され、今日までに全国では3987万人以上の方の感染が確認された。その後は感染の波を繰り返し2022年1月にはオミクロン株による第6波の大きな感染が拡大、本年度2月からは追加接種も開始し3月5日からは、5歳から11歳までの小児への接種も始めている。町民の皆様が安心していただけよう、今後も引き続き感染対策に取り組んでいく。

**新型コロナウイルスの中での経済対策は**

**A** 観光課長

は非常に難しいものがある。経済対策について新年度予算に反映されているようだが、具体的な取り組み内容は。

**Q** 攻めと守りを切り替えながらの行政運営

なるよう町民一人5000円の暮らし応援商品券の配布や、また、当町への旅行需要の回復及び喚起を目的とした宿泊割引クーポン券の発行、また町内施設を利用へのスポーツ、文化合宿に対する助成を新年度予算に予算計上した。

**Q**

関連質問 堀内 昭登

コロナ禍の中、長い歴史を持つ河口湖の一大イベント河口湖湖上祭が昨年は中止されたが、今

**A** 政策企画課長

今年9月4日に開催するMt・富士トライアスロン富士河口湖2022に

ついては河口湖・西湖を舞台としたトライアスロン大会を開催する。目標参加人数は1000人で山梨県内では初の大規模なトライアスロン大会となる。観光振興やスポーツ振興、そして、コロナ過で低迷する経済活動の活性化にもつながるものと大いに期待をしている。

するM

ロード富士河口湖2022に

ついては河口湖・西湖を舞

台としたトライアスロン大

会を開催する。目標参加人

数は1000人で山梨県内

では初の大規模なトライア

スロン大会となる。観光振

興やスポーツ振興、そし

て、コロナ過で低迷する經

済活動の活性化にもつなが

るものと大いに期待をして

**A** 観光課長

ウイズコロナにおいては、感染状況を鑑み、感染防止対策を講じつつ、河口湖湖上祭をはじめ、すべての観光イベントが開催できるよう努力していく。

年は開催する予定があるので、見通しを伺う。

ように考へておる。令和4年度の当初予算においては再々度の3回目に当たる、全町民に対し、5000円の商品券、観光事業者に対して、一泊5000円の宿泊クーポンの発行も行う。これからコロナ前に行つていた各種イベントについては、期待を込めながら全てのイベントに対して予算化をさせていただく。

**Q** 基幹産業に対する町長の施策は、令和4

年度予算に確実に反映され、基幹産業の回復が見込まれることを大いに期待するところである。各種イベントが軒並みであるが、これららのイベントを町長、確かに実に実施し経済の打開策の柱として推進、推し進める時が来たと思うが、町長の付加的な答弁を伺う。

**A** 町長

昨日の所信表明でもお話をさせていただいたところであるが、今回のコロナも3年目に入り、日本全国、また当町も疲弊をしきっている状況で、これらに

対する対策とすれば、まずコロナ対策が第一番という



トライアスロンの様子



消防団の  
手島

待遇強化について

消防団の所属する  
企業や家族への対応は

Q 全国的にも消防団員  
数は減少傾向にあ

り、消防団員の待遇改善が求められている。このたびの条例改正により、1万5000円に増額されたが、この金額はあまりにも少ないと感じる。総務省消防庁で実施した処遇等に関する検討会では、団員の年間報酬額を3万6500円にするべきとの報告が出ている。消防団員報酬の更なる増額をする考えは。

**A 地域防災課長** 今回の条例改正においては、消防庁の示す金額には届いていないが、富士五湖支部の関係市町村とのバランスもあり、1万5000円の増額ということをご理解をお願いしたい。この年間報酬については、来年度より町から各団員への完全個人支給とする。個人の届け出た通帳へ振り込まれる形をとる。

**Q** 団員それぞれが活動に参加できているの

**Q** 現在配備してあるボートは、合併以前より配備されているもので、老朽化の心配もあり、今後はほか

反面、体育館とゴルフ場の老朽化が目立つ。新校舎にふさわしい体育館の整備について、新年度予算に反映されているようだが、概要を

関連質問 倉沢 鶴義

議会だより

は、会社や家族の理解が必要である。団員の周辺の理解があることが消防団活動を支えていく原動力となっている。消防団の所属する企業や家族へも目を向けていただきたいが、その取り組みを伺う。

**A 地域防災課長** 県とも連携して実施している消防団員サポート事業では、県下登録店舗において各種サービスを受けることができ、買物の際にポイントが増えるサービスもあり、さらに企業向けには消防団員協力事業制度がある。

の湖を抱える分団も含め、ポート配備の必要性を検討し、資機材配備についても総合的に検討していく。

**A 町長** 同う。  
国が採択等をしていただけるなら、令和4年12月あたりに着工をしたい。工事内容については、屋根の吹き替え等がメインである。ほかに外壁、内壁塗装、機械設備の交換、床の張替え等を計画している。

シニア防災工講座の様子 V. こ V. 先生と奈良 25 はまの会

**A 地域防災課長**  
県とも連携して実施している消防団員サポート事業では、県下登録店舗において各種サービスを受けることができ、買い物の際にポイントが増えるサービスもあり、さらに企業向けには消防団員協力事業制度がある。

合新庁舎建設基本計画が策定され、令和4年、本年度完成の予定だと伺つている。現状の進捗状況、供用開始等が、分かる範囲で内容を伺う。

装、機械設備の交換、床の張替え等を計画している。

人学級が始まり、県の独自の考え方、事業である。県の施策にのつとつた事業を末端の市町村が実行をするのは、当然少しは面倒を冒していただきたいという強い思いを持っている。行政として県にアタックしてまいりたいと思っている。

**Q** 大石分団では町内唯一のボートが配備され、消防団活動だけではなく、水防活動も担つてい

## 学校教育環境の整備について

関係機関の協力ないかなか  
中でジュニア防災士講座を  
実施した。来年度以降も引  
き続き教育センターや各学  
校と連携し取り組んでい

る。このボートも老朽化が激しくなつてゐる、買い替えについて考え方を伺う。

**Q** 少人数学級に対応できるすばらしい船津小学校が建設された。その

527



## ジュニア防災士講座の様子

# 代表質問



令和の絆

代表質問者 古屋 幹吉

代表 梶原 義美  
中野 貴民 外川 満  
古屋 実 中村 拓郎

**A** **廃棄物処理について**

**Q** 2月1日に、富士北麓・東部地区12市町による廃棄物処理の富士・東部広域環境事務組合での取扱品目に係る年間排出量と、年間での経費を伺う。

**A** **環境課長**

事務の目的をごみ処理施設の設置及び管理とし、組合議員は定数20名で、内訳として、村は各1名、町・市が各2名、富士吉田市ののみ、行政規模や地元交渉対策面等を考慮し4

名。議長は都留市、副議長は富士吉田市、会計管理者が富士吉田市で、当町からは公平委員会情報公開個人情報保護審査会及び行政不服審査会の委員を推薦する。執行機関は、管理者を富士吉田市長が務め副管理者を他11市町村長が担う。事務局体制は、常勤が10名から12名。専門分野職員数名と非常勤職員派遣を想定しており、当町では総務課長ボストーク名の派遣を予定する。組合経費の支弁は、施設建設費では、人口割10%で処理量割90%。運営管理経費では、処理量割10%である。生活環境影響調査を何年度に想定していく、それまでの必要な事業を伺う。

度中に着手、令和6年、7年度中に実施予定とする。それまでに計画用地の範囲の想定と買収、それによる基本計画策定、都市計画等の事前調整が必要となる。

**Q** 富士・東部広域環境事務組合での取扱品目に係る年間排出量と、年間での経費を伺う。

**A** **環境課長**

処理総数の品目や費用などは、需要や費用対効果を協議し決定される為、現時点では未協議である。

12市町村の統一ルールで基準を定め、品質など規格等を明確にし、品種と処理の方法、規模を決定する。

**Q** 不燃ごみとリサイクル処理の事業を組合に移管した場合の現施設の運営を伺う。

当町は、早い段階よりリサイクルセンターの運用があるが、年間のリサイクル量を伺う。

**A** **環境課長**

船津のリサイクルセンターを除く施設は無人化している。ビン、缶、ペットボトル、キャップ、トレー等、年間110トンで、利用者は約1万2000人イ等、年間110トンで、利用者は約1万2000人

の実績がある。身近な回収場所の整備として、リサイクルボックスやリサイクルステーションの設置を進め、使用済み小型家電まで約20トンを回収する。

**Q** リサイクル、リユース、リデュースの考え方の取組みは。



湖南町リサイクルステーション

する基本的事項を調査、審議する環境審議会に委ねる。

**A** **環境課長**

令和4年度では「リサイクルの日」を設定し、みの環境汚染対策にSDGs引用した告知周知活動を行う。それに「3R推進のパッケージをトイレットペーパー」の配布や、生涯学習館で「パネルの展示、関連図書に触れていたく企画展や、夏休みにリサイクルセンターでの体験会」を考える。リサイクルステーション2基を設置し「SDGsを引用したポスター掲示」を行い、積極的に周知向上を行う。



## 新型コロナの影響による税収について

**Q** 新型コロナが2年に渡り猛威を振るう中、地域経済への影響は大きい。税収面では過去の年度と比較して、本年度の税収の推移と来年度の見込みを伺う。

**A 税務課長**

新型コロナが2年に渡り猛威を振るう中、地域経済への影響は大きい。税収面では過去の年度と比較して、本年度の税収の推移と来年度の見込みを伺う。

**A 税務課長**

町税全体で約1億200万円の滞納がある。内訳として、町民税が約3380万円、法人町民税が約386万円、固定資産税が約6150万円、軽自動車税が約280万円である。

**A 町長**

外部のホテル等がこれだけ進出しても、法人町民税は税法上の体系数字からして期待ができない。丸々ではなくて、何百分の1といふようなことになる。た

**A 農林課長**

ジビエ肉は、安定供給ができるが、また、当初は捕獲方法や捕獲後の処理状況により、施設への持ち込まれる頭数も少なかつた。処理技術や加工技術の向上、販路の拡大もあり、持ち込み加工数は平成21年度が34頭だが、令和2年度は14頭に増加。課題は、ハンターの処理技術の向上と新規狩猟者及び鹿肉加工處理者の確保。「ジビエの聖地」を目指すクラウドファンディング事業で約140万円の寄附がある。令和4年度の事業でハンターを呼ぶ。食肉処理業者の技術向上にDVDの作成。町のジビエのPRにパンフレットやホームページの作成。そして、新しい返礼品の鹿肉加工食品の製造。

**A 関連質問 外川 満**

費補助金の交付がある。鹿の被害の相談には、鹿の捕獲おりを設置する。

**A 政策企画課長**

ジビエ肉を町の特産品として、ふるさと納税での返礼品として活用しているが、商品化に至るまでの経緯と課題を伺う。

**A 関連質問 外川 満**

議会だより  
まちかどくらぶ

**Q** 税金の支払いが苦しくなっていることが想像される。滞納額がどの程度あるかを伺う。

**Q** 東証一部上場企業が当町に本社を移転し、また、有名ホテル系列の施設も造られてきた。税額の具体的な状況は別として、将来構想に立った中で、町の発展と税収増への町長の思いを伺う。

**Q** 令和3年度の1月末での収入は、890万5600円、令和2年度の最終的な収入が801万200円、平成31年度が779万6800円である。現時点で両年度より収入額が多い。

**Q** 鹿被害の相談が多くはないがある。繁殖力が強い為、頭数は増加と思う。鹿駆除数を増やすため、鹿1頭につき1万5000円の特定有害駆除報償費の捕獲目標を当初予算では300頭だが、年度末までに490頭とする。また、個人で防護柵の設置には、申請により有害鳥獣防護柵設置

度に比べ、約4億7500万円、増減率で約10%減少。新型コロナの影響が少ない平成31年度に比べ、約6億4400万円、増減率で約13%減少。令和4年度の見込みは、今年度の実績等を考慮し、町税全体で、当初予算比で約5950万円の増額を見込む。令和2年度との実績と比べ約3億7700万円の減額、平成31年度実績比では約5億4500万円の減額となる。

**Q** 税務課長

新型コロナの影響を一番受けていると想像するが、町内全体で観光客が減る中、遊漁税の状況を伺う。

**Q** 近年、県全体の鹿による農作物被害額は減少傾向だが、有害捕獲数と管理捕獲数は増加である。町の現在の状況を伺う。

**Q** 農林課長

鹿被害の相談が多くはないがある。繁殖力が強い為、頭数は増加と思う。鹿駆除数を増やすため、鹿1頭につき1万5000円の特定有害駆除報償費の捕獲目標を当初予算では300頭だが、年度末までに490頭とする。また、個人で防護柵の設置には、申請により有害鳥獣防護柵設置

**Q** 農林課長

鹿肉の食事の場所は、また、精肉をどこで入手できるか伺う。

議会だより  
まちかどくらぶ

**Q** 税金の支払いが苦しくなっていることが想像される。滞納額がどの程度あるかを伺う。

**Q** 東証一部上場企業が当町に本社を移転し、また、有名ホテル系列の施設も造られてきた。税額の具体的な状況は別として、将来構想に立った中で、町の発展と税収増への町長の思いを伺う。

**Q** 令和3年度の1月末での収入は、890万5600円、令和2年度の最終的な収入が801万200円、平成31年度が779万6800円である。現時点で両年度より収入額が多い。

**Q** 鹿被害の相談が多くはないがある。繁殖力が強い為、頭数は増加と思う。鹿駆除数を増やすため、鹿1頭につき1万5000円の特定有害駆除報償費の捕獲目標を当初予算では300頭だが、年度末までに490頭とする。また、個人で防護柵の設置には、申請により有害鳥獣防護柵設置

**Q** 農林課長

町の公式ホームページ内農林課「富士河口湖町の鹿肉ジビエ」でレストランなど町内外合わせて15店舗を紹介。精肉の販売は、精進地区の「ヤマザキYショッピング精進湖店」で購入できる。



**A 地域防災課長**  
庁舎内全体の連携を  
考える中で防災教育の研修  
の実施も踏まえ、取り組め  
ていければと考えている。

でいる一災害対応力を強化する女性の視点】実践的学習プログラムがある。このプログラムを使った研修を実施して、女性職員だけではなく男性職員も含めた町の職員全体が身につけていたべきだ。また、女性防災リーダーを組織化し、地域での活躍の場を。

防災・減災に女性の視点を……

防災会議において、全体の3割が女性委員で、さらに女性防災士は現在6名が登録している。組織化に結びつけられるかは約束できないうが、まだまだ数的にも足りない女性防災士の増員を図っていきたい。また、本年、実施したジュニア防災士養成講座の女性版の開催などにより、防災に対する意識を高め、災害時に活用できる場を提供できればと思つてゐる。

**A** 小児における水ぼう  
種率を持続することが必要  
であるとの報告があり、また、  
帯状疱疹ワクチンによる  
予防についても、検討が  
必要であるとの報告があ  
る。本町の予防接種に関する  
基本的な考え方としては、  
公的機関から示される統計  
データ等を精査し、専門家

**A**  
**環境課長**

一般廃棄物の収集・運搬  
および処分は、市町村に処理責任がある。当町のごみステーションの設置と管理はどのようになっているのか。また、設置管理要綱など文書化すべきではないか。

## 「おアパートマツコ」 設置と管理

しかし、身近な問題でもあり、環境の保全に関する事項を調査審議する環境審議会の部会に、議論をお願いしていきたい。

の助言をいただきながら重要性の高いワクチンから見極めを行い、順次そのような対応をしていきたいと考  
えている。

要綱化、明文化すること  
になると、想定外などなど  
対応ができないくなる等の考  
えが大半。

開発行為該当の宅地分譲時  
には、事業者が設置し、管



### 町内のごみステーション



一般質問者 佐藤 安子

帯状疱疹を未然に  
防ぐために

**Q**

**Q** 50歳を境に発症率は  
急激に上昇し、60歳代から80歳代でピークを迎える80歳までに約3人に1人が帯状疱疹になると言わわれている。帯状疱疹にかかると強い痛みと場所によつて

の助言をいただきながら重要性の高いワクチンから局極めを行い、順次そのような対応をしていきたいと考えている。

また、自治会未加入者のご相談は数多くあり、苦慮しているのが実情。



## 一般質問

一般質問者 山下 利夫

### コロナ禍のもとでの 町民や事業者への 支援強化を

成。④健康科学大学の新入生に1万円の商品券を配布。



コロナ禍に突入して2年が経過し、「もう限界だ」という悲鳴が上がり、廃業や休業する事業者も増えている。また、労働者からも、「給料が減少した」「仕事がなくなつた」などの声がある。

### 保育士や放課後児童クラブ 支援員の待遇改善を



保育、教育の現場における感染者が増え、そこで働く職員の負担も大きくなっている。

富士河口湖町では、保育士や放課後児童クラブ支援員の多くが会計年度任用職員であるが、昇給しても給与は月額20万円に届くことはなく、勤務年数が長くなるほど、正職員との差は広がる。会計年度任用職員の保育士や放課後児童クラブ支援員の給与の引上げを。



**総務課長**

令和3年11月19日に閣議決定された岸田内閣による「コロナ克服・新時代のための経済対策」を踏まえ、町では、会計年度任用職員の保育士と保育士補助員、放課後児童クラブに勤務する会計年度任用職員について、この2月から給与を3%程度引き上げるよう規則の改正を行った。この改正により、3・6%程度の給与引き上げ、月額では5800円から1万500円の引き上げとなる。



**観光課長**

新年度予算に、次の4つの事業を盛り込んだ。

①全町民に1人5000円の商品券を配布。②町内の宿泊施設に宿泊する費用の一部を助成。③スポーツや文化芸術活動で、町内の宿泊施設を利用して合宿を執り行う旅行業者に、1人1泊につき2000円を助

去年12月議会の私の一般質問の中で町長は、コロナの感染状況によつてはさらなる支援策を検討する旨の答弁をされた。給付金などの支援策を。



**土砂災害の  
予防対策の強化を**

豪雨災害、河口湖増水など

の痛ましい歴史がある。当町では、251か所の土砂災害警戒区域、そのうち、229か所が土砂災害特別警戒区域に指定されているが、今、河口地区において、それらの区域を含む地域において、森林伐採が行われ、キャンプ場の開発計画がある。

町の防災アドバイザーで、元・山梨大学大学院の総合研究部工学域土木環境工学教授、地域防災・マネジメント研究センター長の鈴木猛康さんは、土砂災害の直撃によって生命に危険があ

る家の中においても、土砂の接窓口に開発者がお越しになることが増えている。今後も、開発者に、地域住民の不安解消を要請していく。

整備課には、電話または直接窓口に開発者がお越しになることが増えている。今後も、開発者に、地域住民の不安解消を要請していく。



**土砂災害の  
予防対策の強化を**

先般、町長名と議長名をもつて開発者に対し、地域住民が不安を抱いていた。これは、地域住民からの町及び町議会への陳情にもとづくもの。

また、窓口である町都市整備課には、電話または直

ると警告している。グランピングのような施設に土砂が直撃すれば、その危険性がより高まる。

町長として、このような計画がもたらす影響について、県や専門家の力も借りて、協議を行い、その結果が出るまでは工事をストップさせるべきだ。



**町長**

の不安を解消すべく、方策を取るよう、要請をしました。これは、地域住民からの町及び町議会への陳情に

## 公開します 議員の賛否

## 審議した議案とその結果

○令和4年 3月定例会

(第1回)

会期: 3/8 (火) ~3/23 (水) 16日間

〔本会議〕議案審議

(3/8、3/23)

代表・一般質問 (3/9、3/10)

〔予算特別委員会〕

(3/11~3/17)



上程議案・概要・結果	結果	中村 拓郎	古屋 実	古屋 幹吉	渡辺 英之	井出 正広	外川 満	渡辺 武則	渡辺 美雄	中野 貴民	山下 利夫	佐藤 安子	小佐 野快	梶原 義美	堀内 昭登	三浦 康夫	倉沢 鶴義
賛成: ○ 反対: × 討論: 討 欠席: 欠																	
全賛: 全員賛成で可決・認定・採択																	
賛多: 賛成多数で可決・認定・採択																	
条例の一部改正・廃止																	
富士河口湖町国民健康保険税条例の一部改正	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	○
河口湖創造の森オートキャンプ場条例を廃止する条例	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
当初予算																	
国民健康保険特別会計	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	○
一般会計	▶ P2-4 に記載	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○

\*議長は賛否同数の場合のみ、議長採決として賛否表明します。

令和4年度富士河口湖町歳入歳出予算	結果	精進特定環境保全公共下水道事業会計	2280万円(前年比0..2%増)	全賛
船津財産区特別会計	4億5206万円	全賛	温泉事業特別会計	5952万円(前年比30.5%増)
小立財産区特別会計	7億4132万円	全賛	令和3年度富士河口湖町補正予算	
大石財産区特別会計	3317万円	全賛	船津財産区特別会計(第2号)	140万円増額
河口財産区特別会計	6488万円	全賛	河口湖治水事業特別会計(第1号)	140万円増額
西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区特別会計	457万円	全賛	船津公園墓地事業特別会計(第1号)	140万円増額
勝山財産区特別会計	8511万円	全賛	河口湖簡易水道事業特別会計(第2号)	150万円増額
長浜財産区特別会計	328万円	全賛	足和田簡易水道事業特別会計(第2号)	40万円増額
西湖財産区特別会計	851万円	全賛	令和3年度一般会計補正予算(第10号)	3億2889万円増額
大嵐財産区特別会計	1847万円	全賛	条例・規則の一部改正	
青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜県有財産保護財産区特別会計	496万円	全賛	富士河口湖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全賛
精進財産区特別会計	612万円	全賛	富士河口湖町長期継続契約に関する条例の一部改正	全賛
本栖財産区特別会計	64万円	全賛	富士河口湖町定住及び二地域居住促進に関する条例の一部改正	全賛
富士ヶ嶺財産区特別会計	478万円	全賛	富士河口湖町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	全賛
大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区特別会計	123万円	全賛	富士河口湖町過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部改正	全賛
小立簡易郵便局事業特別会計	1219万円	全賛	富士河口湖町印鑑条例の一部改正	全賛
富士ヶ嶺簡易郵便局事業特別会計	932万円	全賛	富士河口湖町手数料条例の一部改正	全賛
河口湖治水事業特別会計	3078万円	全賛	富士河口湖町議会規則の一部改正	全賛
後期高齢者医療特別会計	3億4905万円(前年比20.3%増)	全賛	人事案件	
介護保険特別会計	19億8881万円(前年比4.1%増)	全賛	富士河口湖町副町長選任同意	全賛
介護予防支援事業特別会計	881万円(前年比1.2%増)	全賛	富士河口湖町教育委員会教育長選任同意	全賛
船津公園墓地事業特別会計	1044万円(前年比4.7%増)	全賛	富士河口湖町固定資産評価審査委員会委員選任同意	全賛
小立公園墓地事業特別会計	910万円(前年比5.3%減)	全賛	船津財産区管理委員選任同意	全賛
勝山墓地事業特別会計	116万円(前年比25.1%減)	全賛	小立財産区管理委員選任同意	全賛
水道事業会計	収益的収入 3億4019万円 支出 3億9708万円 資本的収入 1億6311万円 支出 2億6117万円	全賛	大石財産区管理委員選任同意	全賛
河口湖簡易水道事業特別会計	1億5744万円(前年比56.4%減)	全賛	河口湖財産区管理委員選任同意	全賛
足和田簡易水道事業特別会計	3293万円(前年比11.3%増)	全賛	西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区管理委員選任同意	全賛
上九一色簡易水道事業特別会計	1億4824万円(前年比46.6%増)	全賛	長浜財産区管理委員選任同意	全賛
下水道事業特別会計	9億7660万円(前年比3.2%増)	全賛	大嵐財産区管理委員選任同意	全賛
本栖下水道事業特別会計	838万円(前年比0.3%減)	全賛	精進財産区管理委員選任同意	全賛
			本栖財産区管理委員選任同意	全賛
			大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区管理委員選任同意	全賛

三月十六日の午後十一時半ごろ  
地震が発生しました。河口湖の震度は四、いつもより長くゆっくりとした横揺れに東日本大震災の時のことが思い出されました。「天災は忘れた頃にやってくる。」と  
いうことわざもありますが、近頃は忘れる間もなく起こっています。

今年度小立小学校では、富士山科学研究所久保留弘研究員の指導を受け、より実際の状況に近づけた「発災対応型防災訓練」を実施しました。地震の発生した時刻や被害状況の想定を久保研究員が細かく設定しました。建物の被害を示す表示が校舎内に貼られ、数名の児童には校舎内外でけが人役を任せました。これら的情報は事前に教職員や児童に伝えられません。

休み時間の突然の放送で訓練は始まりました。思い思いの場所で過ごしていた子どもたちも職員も、まず自分の身を守る行動をとりました。掃除が収まる放送のあと、職員室では校長を中心に統括本部が設置され、その指示のもと児童の安全を優先し職員が分担して校舎内外を巡回しました。廊下や教室にいる児童には、教室へ戻るよう促し、担任は教室で児童の安否を確認を行いました。ケガ人を発見した班は、ケガの状況をみて応急手当を試みました。自力で動けな



## 防災訓練の様子

以前、県議会を傍聴する機会はあったが、傍聴席でみていると代表質問等と答弁の距離があり、なかなか質問内容も県全体であり集中して傍聴することができなかつたが、今回は富士河口湖町議会という身近に傍聴する機会を得て、初めてでもあり、昨今の生活に関わる事なので知人數名を誘い出向いてみようと思って参 加した。

### 議員の質問事項に対しての各部門担当者の

議會

回答は、「議会だより」の文章となっている活字とは違い、生の声で聴いていると質問議員の気持ち・込め方・感情が伝わり、町の行政に対する緊迫感があり傍聴もよいものだなあと思った。

今までのような時とは様変わりした現在、環境・ネット社会等さまざま。私たちの考え方捉え方、町民も議員も未来に向けての議論をしていく重要性を感じた。

(町内自営業)

議会を傍聴しませんか？ 次の定例会は6月です

ご当地でも併用できます。  
店舗入口で受付を済ませ併用してください。



●議會広報常任委員会
委員長 佐藤 安子
副委員長 古屋 幹吉
委員 中村 拓郎

町民の皆様に、興味を持つて手に取つていただける議会だよりを目指し、より多くの皆様と町政について一緒に考えていくことを願つています

さて今回の議会だより  
は、令和4年度の予算特別  
委員会での審議、3会派の  
代表質問と2人の一般質問  
が主な内容になつております。

ました。相変わらず新型コロナウイルス感染対策を講じながらですが、できるだけをできる形で取り組み、町が豊かに発展していくことを望んでいます。

美しい新緑とさわやかな風。町自慢の豊かな自然から多くのエネルギーをもらえる素晴らしい季節となりました。いよいよ新年度がスタートし

編集後記

議会だより Vol.74  
2022.5

発行：富士河口湖町議会 編集：議会広報常任委員会  
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167